

**LODチャレンジ2023 Meet UP!!!!**

**2023/8/29**



**LOD Challenge  
2023**

**LODチャレンジの  
「はじめかた」**

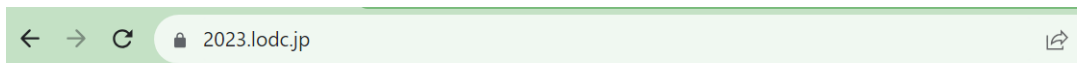
**LODチャレンジ実行委員会**

**<http://lodc.jp>**



LOD Challenge  
2023

# LODの技術情報



LOD Challenge 2023

TOP	開催趣旨・ 作品募集要項	過去の開催と 受賞作品等	LOD情報交換 ・技術情報	実行委員会	スポンサー・ パートナー募集
-----	-----------------	-----------------	------------------	-------	-------------------

LODに関する  
技術情報



LOD Challenge  
2023

これまでのイベントの  
「資料」 + 「動画」で  
作品づくりに必要な  
ひと通りの知識  
が学べます！

<https://lodc.jp/>

集中です！



LOD Challenge  
2023

# 現在公開中の情報

技術情報 | LODチャレンジ2023 | Linked Open Data勉強会2020

2023.lodc.jp/technical\_issue.html

## LODに関する技術情報

### アーバンデータチャレンジ2023キックオフでの講演資料

2023年7月14日、アーバンデータチャレンジ10周年記念キックオフイベントの中で行われました「チャレンジ3兄弟座談会」クロストークにて、LODチャレンジ2023実行委員長の古崎が講演した際のスライド資料です。作品づくりの参考にしてください。

- 講演スライド資料

### 文化・芸術とLOD

本イベントでは、近年LODでの公開が進んでいる図書館や博物館にて、各種データベースに関する紹介や、SPARQLを用いた活用事例の豊田将平さん（株式会社ソケット）の資料に、SPARQLクエリはぜひ参考にしてください。

- イベント告知サイト (2022/9/8 実施)
- 豊田さんの解説資料サイト

### SPARQLエンドポイントの使い方・作り方2022

本イベントでは、LODを探索するためのサービス（API）であるSPARQLエンドポイントについて、日本オラクル株式会社からは、「Oracle Cloud で無料の SPARQL エンドポイント構築したいとお考えの方はぜひ参考にしてください。

- イベント告知サイト (2022/8/30 実施)
- イベント動画
- 紹介資料

### Wikidataを使った「知識グラフ検索サービス」の作り方

近年、Linked Open Data (LOD) は様々な知識とデータの関係性を表現する技術としても活用されています。本イベントでは、LODとして利用可能な Wikidata を利用した「知識グラフ検索サービス」の作り方を、ハンズオン形式で学びます。

- イベント告知サイト (2022/8/8 実施)
- イベント動画
- スライド資料
- KGSearchForWD: Wikidataを使った「知識グラフ検索ツール」

### SPARQLエンドポイントの使い方・作り方

本イベントでは、LODを探索するためのサービス（API）であるSPARQLエンドポイントをテーマに、「使い方」と「作り方」の両面から解説しました。

- イベント告知サイト (2021/11/15 実施)
- イベント動画
- 紹介資料

文化・芸術分野のLOD

LODの公開方法

Wikidataを用いた検索サービス開発

LODの公開方法

技術情報 | LODチャレンジ2023 | Linked Open Data勉強会2020

2023.lodc.jp/technical\_issue.html

## LODチャレンジ作品展告知所&応募相談会

LODチャレンジは、LODに関わる様々な作品を発表する場として毎年開催しています。これまでのLODチャレンジの応募作品のなかから、様々な応募作品づくりの参考としていただくことをねらいとして開催しています。

- イベント告知サイト (2021/11/1 実施)
- イベント動画
- 紹介資料

## ナレッジグラフ推論チャレンジ2021「技術勉強会」

～ナレッジグラフ利用技術の基礎と推論/説明への活用事例～

LODチャレンジの後援イベント「第1回学生向け！ナレッジグラフ推論チャレンジ」が対象としている「推論小規模のナレッジグラフを技術で、実演も交えて解説しています。ナレッジグラフの利用技術について、実演も交えて解説しています。

- イベント告知サイト (2021/8/30 実施)
- イベント動画(Section1, Section2, Section3)
- 資料公開用 GitHubレポジトリ

## Linked Open Data チャレンジ Japan 10年間の軌跡【記事】

LODチャレンジ2022実行委員会顧問 下山純代子（一般社団法人リンクデータ広場）による、LODチャレンジの紹介記事です。

- 記事掲載サイト (2021/8/3 公開)

## 人工知能学会SWO研究会ワークショップ「ナレッジグラフ推論チャレンジ2020技術勉強会」

LODチャレンジの後援イベント「ナレッジグラフ推論チャレンジ」は、人工知能学会セミナーディックウェブとオントロジー(SWO)研究会による、「説明能力（解釈可能性）」をもったAI技術の開発・促進を目的とした「コンテスト」です。

本ワークショップでは、ナレッジグラフの記述に用いられるデータモデルであるRDF、および、RDFを対象としたクエリ言語SPARQLなどの基礎技術についての技術勉強会を行っています。

- イベント告知サイト (2020/9/9 実施)
- イベント動画(富生, 俊生)
- 資料公開用 GitHubレポジトリ

## Linked Open Data勉強会2020

本イベントは、LODチャレンジへの応募に不可欠な基礎的な技術ハンズオン形式による実践的な技術習得の場を提供しました。

- LODやSPARQLの基本を学びたい方
- LODチャレンジへの応募を考えている初心者の方
- ナレッジグラフ推論チャレンジへの応募を考えている初心者の方

- イベント告知サイト (2020/8/26 実施)
- イベント動画(富生, 俊生)
- 資料公開用 GitHubレポジトリ

過去の応募作品をピックアップ

(推論チャレンジ)  
前半はLODの基礎

LODチャレンジの歴史

(推論チャレンジ)

LODの作成～利用の基礎知識



LOD Challenge  
2023

# 現在公開中の情報

LODの「基礎」から「応用」まで  
必要な情報をほぼ網羅している（つもり）

製品  
をヒックアップ

（推論チャレンジ）

前半はLODの基礎

文化・芸術  
のLOD

LODをこれから「はじめたい」という人が  
どの順番で資料を見ればよいか  
「おススメの順番」を紹介

チャレンジ

（チャレンジ）

検索サービス開発

LODの公開方法

LODの作成～利用  
の基礎知識

技術情報 | LODチャレンジ2023

LODに関する技術情報

アーバンデータチャレンジ2023

2023年7月14日、アーバンデータチャレンジ10周年記念キックオフシンポジウムの中で行われました「チャレンジ3兄弟座談会」クロアチアにて、LODチャレンジ2023実行委員長の古崎が講演した際のスライド資料です。作品づくりの参考にいただければ幸いです。

- 講演スライド資料

文化・芸術とLOD

本イベントでは、近年LODでの公開が進んでいる図書館や博物館にて、各種データベースに関する紹介や、SPARQLを用いた利活用の講師の豊田将平さん（株式会社ソケット）の資料に、SPARQLクエリはぜひ参考にしてください。

- イベント告知サイト（2022/9/8 実施）
- 豊田さんの紹介資料サイト

SPARQLエンドポイントの活用

本イベントでは、LODを検索しました。日本オラクル株式会社からは、構築したいとお考えの方はぜひ

- イベント告知サイト（2022/8/8 実施）
- イベント動画
- 紹介資料

Wikidataを使った「知識グラフ検索ツール」

近年、Linked Open Data (LOD) に関する技術としても活用されているWikidataを利用した「知識グラフ検索ツール」

- イベント告知サイト（2022/8/8 実施）
- イベント動画
- スライド資料
- KOSearchForWD: Wikidataを使った「知識グラフ検索ツール」

SPARQLエンドポイントの使い方・作り方

本イベントでは、LODを検索するためのサービス（API）であるSPARQLエンドポイントをテーマに、「使い方」と「作り方」の両面から解説しました。

- イベント告知サイト（2021/11/15 実施）
- イベント動画
- 紹介資料

イベント告知サイト（2021/11/1 実施）

イベント動画

紹介資料

ナレッジグラフ推論チャレンジ2021「技術勉強会」

～ナレッジグラフ利用技術の基礎と推論/説明への活用例～

- イベント告知サイト（2021/8/30 実施）
- イベント動画(Section1, Section2, Section3)
- 資料公開用 GitHubレポジトリ

資料公開用 GitHubレポジトリ

Linked Open Data勉強会2020

本イベントは、LODチャレンジへの応募に合わせた基礎的な技術ハンズオン形式による実践的な技術習得の場を提供しました。

- LODやSPARQLの基本を学びたい方
- LODチャレンジへの応募を考えている初心者の方
- ナレッジグラフ推論チャレンジへの応募を考えている初心者の方

- イベント告知サイト（2020/8/26 実施）
- イベント動画(書生, 後生)
- 資料公開用 GitHubレポジトリ



# LODの基本的な技術全般

LOD Challenge  
2023

★最初に読むのに「おススメ」★

## Linked Open Data勉強会2020

本イベントは、LODチャレンジへの応募に向けた基礎的な技術の勉強会として、ハンズオン形式による実践的な技術習得の場を提供しました。

- LODやSPARQLの基本を学びたい方
- LODチャレンジへの応募を考えている初心者の方
- ナレッジグラフ推論チャレンジへの応募を考えている初心者の方
- [イベント告知サイト](#) (2020/8/26 実施)
- イベント動画([前半](#), [後半](#))
- [資料公開用 GitHubレポジトリ](#)

- LODの基礎 (RDF)
  - 作成
  - 公開 (RDF-DB)
  - 検索 (SPARQL)
  - アプリ開発
- まで、一連の内容を解説

## ナレッジグラフ推論チャレンジ2021「技術勉強会」

～ナレッジグラフ利用技術の基礎と推論/説明への活用例～

LODチャレンジの後援イベント『第1回学生向け！ナレッジグラフ推論チャレンジ2021』への応募を検討している方に向けた技術勉強会です。推論チャレンジが対象としている「推理小説のナレッジグラフを用いた犯人の推理」の技術を、実演も交えて解説しています。ナレッジグラフの利用技術に関心をお持ちの方

- [イベント告知サイト](#) (2021/8/30 実施)
- イベント動画([Section1](#), [Section2](#), [Section3](#))
- [資料公開用 GitHubレポジトリ](#)

ナレッジグラフ推論  
チャレンジを例とした  
一連の解説



LOD Challenge  
2023

# LODの公開・検索

**SPARQL検索が可能な  
「独自LOD」の公開する方法**

## SPARQLエンドポイントの使い方・作り方2022

本イベントでは、LODを検索するためのサービス（API）であるSPARQLエンドポイントをテーマに、「使い方」と「作り方」の両面から解説しました。

日本オラクル株式会社からは、「Oracle Cloud で無料の SPARQL エンドポイント構築」の紹介がありました。SPARQLエンドポイントを自分で構築したいとお考えの方はぜひ参考にしてください。

- [イベント告知サイト](#) (2022/8/30 実施)
- [イベント動画](#)
- [紹介資料](#)

## SPARQLエンドポイントの使い方・作り方

本イベントでは、LODを検索するためのサービス（API）であ

- [イベント告知サイト](#) (2021/11/15 実施)
- [イベント動画](#)
- [紹介資料](#)

- LODの検索（SPARQL）
- SPARQL検索が可能なLODの紹介
- SPARQL検索が可能なLODの公開方法（RDF-DB）  
について解説  
※2021，2022で紹介内容が一部  
異なります

しま



LOD Challenge  
2023

# LODの利用例

応募作品作成のアイデアが欲しい

## LODチャレンジ作品温故知新&応募相談会

LODチャレンジは、LODに関わる様々な作品を発表する場として毎年開催され、これまでに多くの作品が応募されてきました。本イベントは、これまでのLODチャレンジの応募作品のなかから、様々な作品の紹介を通して、LODの活用事例について知っていただくと共に、皆様な応募作品づくりの参考としていただくことをねらいとして開催したものです。

- [イベント告知サイト](#) (2021/11/1 実施)
- [イベント動画](#)
- [紹介資料](#)

過去のLODチャレンジの  
応募作品の紹介

## Linked Open Data チャレンジ Japan 10年間の軌跡【記事】

LODチャレンジ2022実行委員会顧問、下山紗代子（一般社団法人リンクデータ代表理事、総務省地域情報化アドバイザー、内閣官房オープンデータ伝道師）による、LODチャレンジの紹介記事です。

- [記事掲載サイト](#) (2021/8/3 公開)

LODチャレンジの歴史





LOD Challenge  
2023

# LOD (Wikidata) の利用例

LODを使って「動くもの」  
を簡単に作ってみたい

## Wikidataを使った「知識グラフ検索サービス」の作り方

近年、Linked Open Data (LOD) は様々な知識とデータの関係を構造化したデータベースである「知識グラフ (ナレッジグラフ)」を公開する技術としても活用されています。本イベントでは、LODとして利用可能できる大規模かつ汎用な知識グラフである [Wikidata \(ウィキデータ\)](#) を利用した「知識グラフ検索サービス」の作り方を、ハンズオン形式で解説しました。

- [イベント告知サイト](#) (2022/8/8 実施)
- [イベント動画](#)
- [スライド資料](#)
- [KGSearchForWD](#) : Wikidataを使った「知識グラフ検索ツール」開発用のライブラリ

大規模な汎用LODであるWikidataを利用し  
「独自の検索サービス」を簡単に作成  
するツールの紹介





LOD Challenge  
2023

# LODチャレンジQ&A・情報交換

技術情報 | LODチャレンジ2023

2023.lodc.jp/technical\_issue.html

LOD Challenge 2023

TOP   開催趣旨・作品募集要項   過去の開催と受賞作品等   **LOD情報交換・技術情報**   実行委員会   スポンサー・パートナー募集

## LODチャレンジQ&A・情報交換

LODに関する情報交換を目的とした GitHubリポジトリ [LODチャレンジQ&A・情報交換ページ](#) です。GitHubのアカウントをお持ちの方はどなたでもご利用いただけます。

このリポジトリの **Issues (イシュー)** に、LODに関するご質問や関連情報などを自由に投稿してください。

投稿内容は、LODチャレンジの応募や、LODチャレンジのイベントで紹介された内容に関する質問・追加情報を主に想定していますが、LODに関連することであればどのような内容でも結構です。このリポジトリの運用方法や掲載する情報などについてのご意見も歓迎します。

- [Issues 投稿一覧](#)
- [Issuesへの新規投稿はこちらから](#)

## LODに関する技術情報

アーバンデータチャレンジ2023キックオフでの講演資料

2023年7月14日、アーバンデータチャレンジ20周年記念キックオフイベントの内で行われました「チャレンジ20周年記念セミナー」

お気軽に  
ご利用ください



LOD Challenge  
2023

# LODチャレンジ2023

応募期間 2023/6/18～10/1

結果発表 2023/12 予定

<https://lodc.jp>